

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス unico那珂川		公表日	2026年4月29日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員が適切かの人数調整を行っているため適切。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員に対しての配置数、利用する児童の状況や関係性などに配慮し、少しでもお互いが気持ちよく過ごせるように調整をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	棚の区切りごとに遊びを選択しやすいように工夫をしている。	入口に階段があり、障害の特性に合わせたバリアフリー化はされていない現状がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		毎日の掃除は行えてはいるが、細部までできていない。破損した家具類がそのままになっており、過ごしやすい環境作りがまだ必要だと感じる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンが必要な時や学習時など、子どもたち自身が選ぶ様子も見られている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		デイリーリフレクションに目標の振り返りを取り入れ、定期的に見直しを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者機関からの評価を受ける代わりに、本社職員を事業所に派遣して評価を行う内部監査制度を年2回実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管が保護者から聞き取りをしてくださった内容をもとにスタッフ全員で検討をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		デイリーリフレクションの振り返りの時間で、計画書を見直す時がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			工夫はしているが、似たワークショップになることもある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		デイリーリフレクションの中で振り返りや、その日の利用児に合わせて提示する活動やその日の流れを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校から年間計画・行事予定・下校時刻の情報共有を受けている。	学校での様子は保護者を介して情報を頂くことはあるため、もっと知ることが必要だと感じる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		unico春日教室を通われていた児童の情報共有は行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○				

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に共有できていなかった様子や 課題については、お電話で共有をして いる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		unicoでこう伝えたらうまくいった、こ うしてみるのもいいかもしれないと伝 えることはある。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明 を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得 ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族からの相談には、教室に持ち帰 りスタッフで共有、返答を行っている が、保護者にとって適切な対応がで きているかわからない。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する 等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を しているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける 等の支援をしているか。	○			保護者同士で交流する機会は設けられ ていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する ことにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこ どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。	○		行事や施設を利用することはある。	地域の方を招いての交流はない。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している か。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発 生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っ ているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況 を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基 づく対応がされているか。	○		おやつチェック欄にアレルギーがあ る児童の一覧を貼り、確認をしてい る。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他 必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が 行われているか。	○			
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよ う、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知し ているか。	○				

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日のデイリーリフレクションで共有を行っている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス unico那珂川		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 1日		2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 1日		2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりに沿った支援	お子様一人ひとりの特性に合わせた個別支援計画書を作成し、支援を行っております。定期的に情報収集と共有の場を作り、職員全体で認識を揃えたくうえで支援を届けております。	毎日の振り返り時にお子様の個別支援計画書を確認するなどし、個別支援計画書に沿った支援ができていたか、成長につながっているかを振り返ります。
2	保護者様とのコミュニケーション	送迎時や連絡帳アプリなどのツールを用いて、お子様のご様子をお伝えしております。その日見られた様子だけでなく、見立てや、職員が行った支援を通してどのような姿が見られたかを共有しております。	連絡帳アプリをはじめ、共有の質を高め、教室でのご様子が思い浮かべられるように工夫していきます。保護者様からのご相談にも、教室全体で適切な対応ができるように検討しながら取り組んでいきます。
3	お子様が安心して過ごせる環境作り	お子様が存分に自らの力を発揮して育っていけるような支援に取り組んでおります。お子様の発信する言動をまずはそのまま受け止め、意欲が引き出せるような関わりや、様々な興味につながるワークシヨップなどの活動を設定しております。	研修や日々の支援の振り返りを続け、お子様が自ら育っていけるよう支援の質を高め、のびのびと自分の力を発揮できる支援ができることを目指します。また、より快適に過ごさせていけるように、環境整備に努めて、より安心して過ごせる環境作りに努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災・安全に関する取り組みの十分な周知	定期的に災害発生時を想定した防災訓練をお子様と実施したり、職員間で感染防止対策の取り組みを行っていましたが、保護者様への十分な連携や今まで以上に伝わる工夫が必要であると感じています。	定期的な防災訓練や感染防止対策は継続しながら、防災訓練でのお子様のご様子が伝わるよう、送迎時での共有や連絡帳アプリを活用し、内容が伝わるよう工夫してまいります。
2	ご家族様が安心してご利用いただけるような支援体制強化	お子様に対する支援や運営の充実は継続しつつ、どのような取り組みや支援を行っているのかを保護者様にお伝えはしていますが、今後はご家庭内での支援に活かせる情報提供等の充実を検討する必要があると考えております。	保護者の方々に役立つ情報の発信や、お子様が育った様子をプロセスを含めて共有していくことで、ご家庭に寄り添った支援体制の設備に段階的に取り組んでまいります。
3	イレギュラーが発生した際の丁寧なご家族様への連携	事故や怪我を含むイレギュラーが発生した際には、職員間で状況を確認し、事実ベースでの情報共有を行っておりますが、その後の保護者様への連絡や説明の丁寧さの向上に努め、安心してお子様が通えるように工夫してまいります。	イレギュラーが発生した際には、事実ベースでの情報共有を引き続き行いつつ、より丁寧に状況と対応内容を保護者様へお伝えできるように、職員間での連携を工夫してまいります。